

## ■本案件に対する本市の評価

- ・騒音・振動源となる設備を建築物内に設け、生活環境影響調査を実施し、騒音・振動の最大予測値が基準を満たす結果となっていること
- ・臨海部の工業地域に立地し、工業の利便を害する施設ではないこと
- ・幹線道路に至る間の道路は十分な幅員を有しており、かつ、施設への搬出入車両は、周辺交通量に対して影響が少ないこと
- ・申請地から100メートルの範囲に敷地の一部がかかる学校に対して、著しい影響を与えないこと
- ・隣接地の所有者等に事業内容を説明し理解を得ていること

以上の理由により、

**敷地の位置は、都市計画上支障はない**

# ■ 案件概要

議第1278号

## 建築基準法第51条に基づく産業廃棄物処理施設の設置

名 称	位 置
産業廃棄物処理施設	横浜市金沢区幸浦二丁目 13番34、35、37及び38

運営主体：株式会社アイダスト

施設概要：廃プラスチック類の破碎施設

木くずの破碎施設

がれき類の破碎施設

# ■ 建築基準法第51条の適用

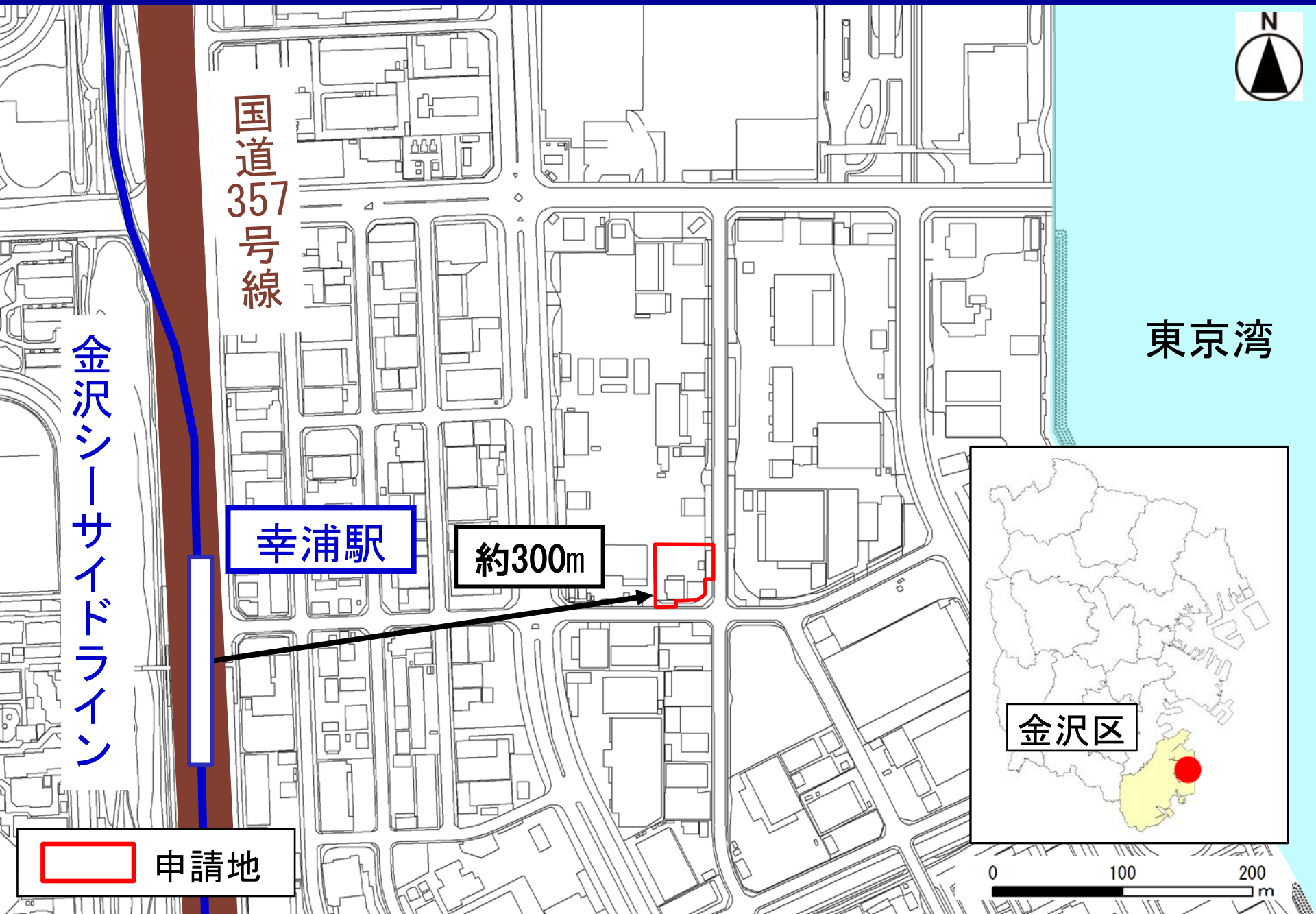
許可対象 処理施設		処理能力 (現行)	許可対象 処理能力	処理能力 (計画)
破 碎 施 設	廃プラス チック類	2.56 t / 日	6 t / 日 超	150.77 t / 日
	木くず	4.48 t / 日	100 t / 日 超	217.14 t / 日
	がれき類	4.01 t / 日	100 t / 日 超	397.46 t / 日

## 【許可内容】

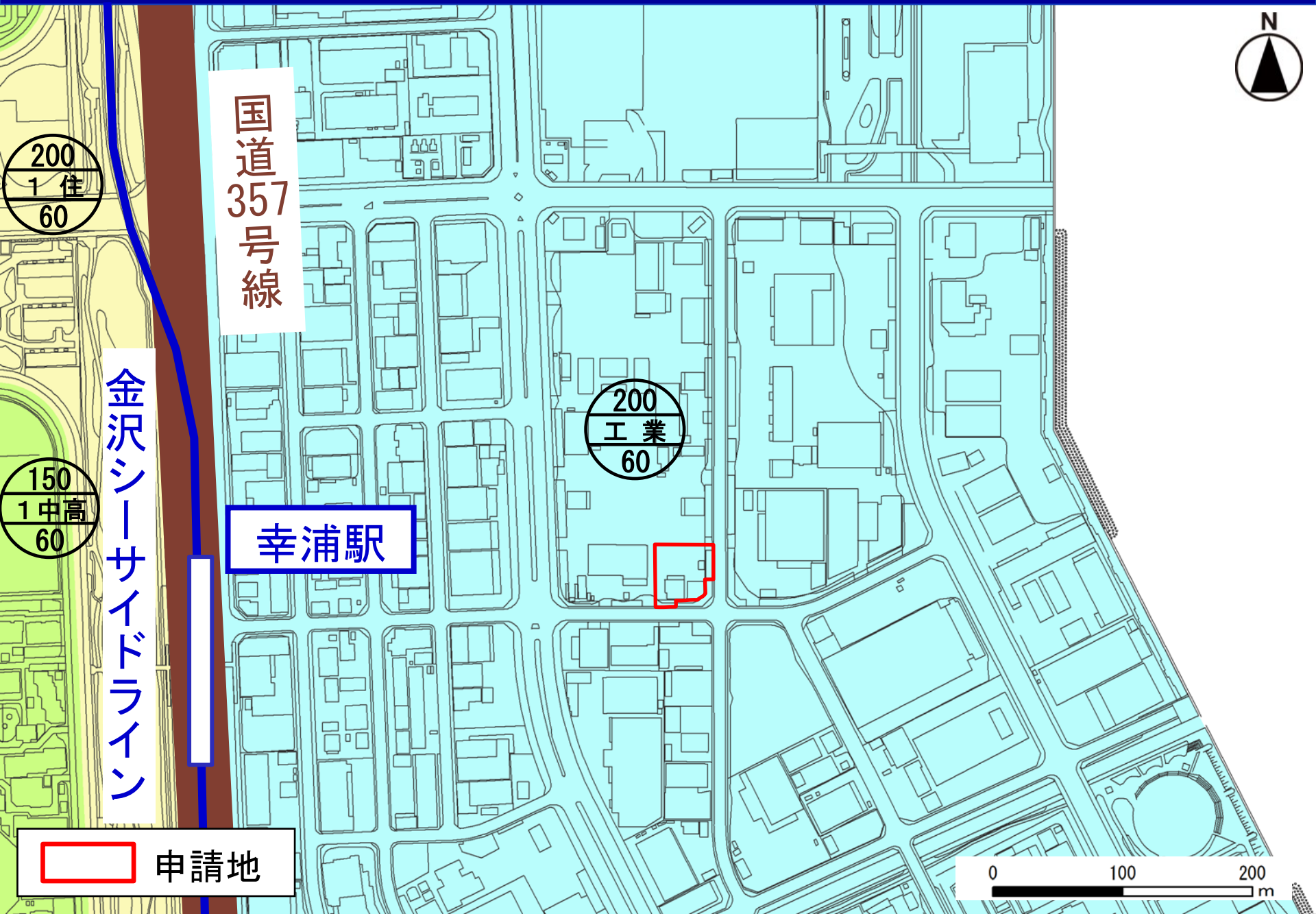
- ・ 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の対象とならない  
破砕施設が 1 基稼働中
- ・ 破砕施設の設置に伴い、処理能力が許可対象処理能力を  
超える

➡ 法第51条の許可が必要

# ■位置図



# ■用途地域



国道  
357  
号線

幸浦駅

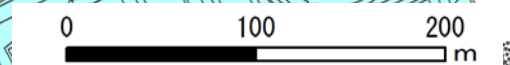
200  
工業  
60

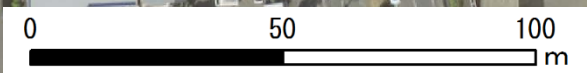
200  
1住  
60

150  
1中高  
60

金沢シーサイドライン

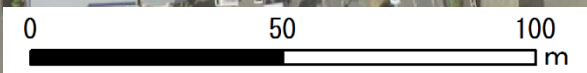
申請地



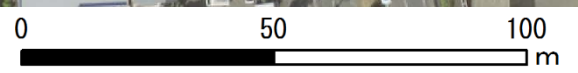
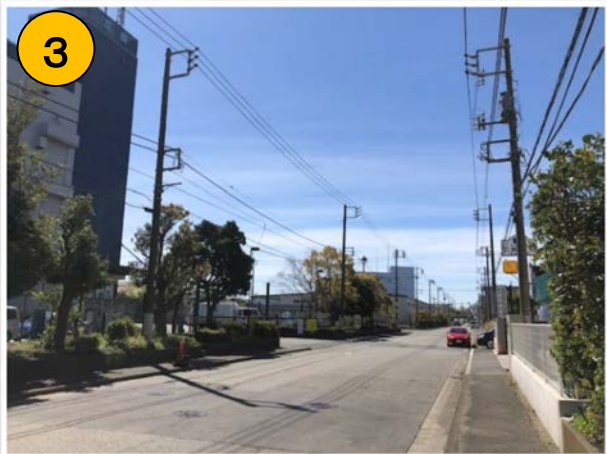


平成29年12月撮影

# ■ 周辺状況



# ■ 周辺状況





# ■搬出入ルート






市道長浜第20号線 (幅員22m)

市道幸浦第21号線  
(幅員12m)

市道幸浦第25号線  
(幅員36m)

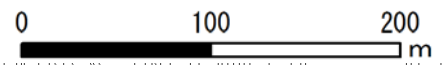
市道長浜第31号線  
(幅員12m)

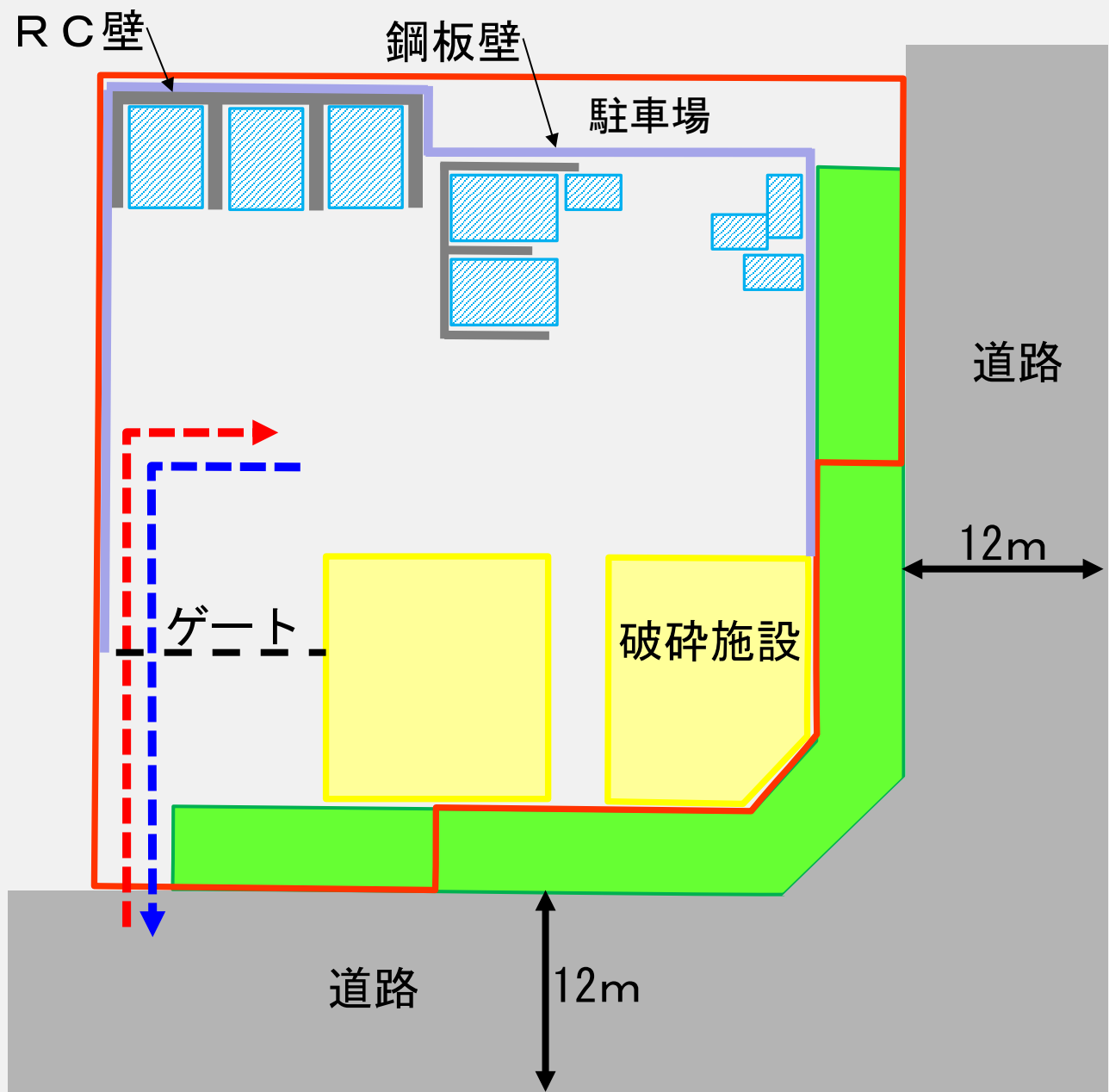
発生交通
搬入 16台/日
搬出 6台/日
発生交通量
44台/日

	申請地
	搬入ルート
	搬出ルート

交通量調査地点A
交通量 約3,500台/日

交通量調査地点B
交通量 約1,500台/日





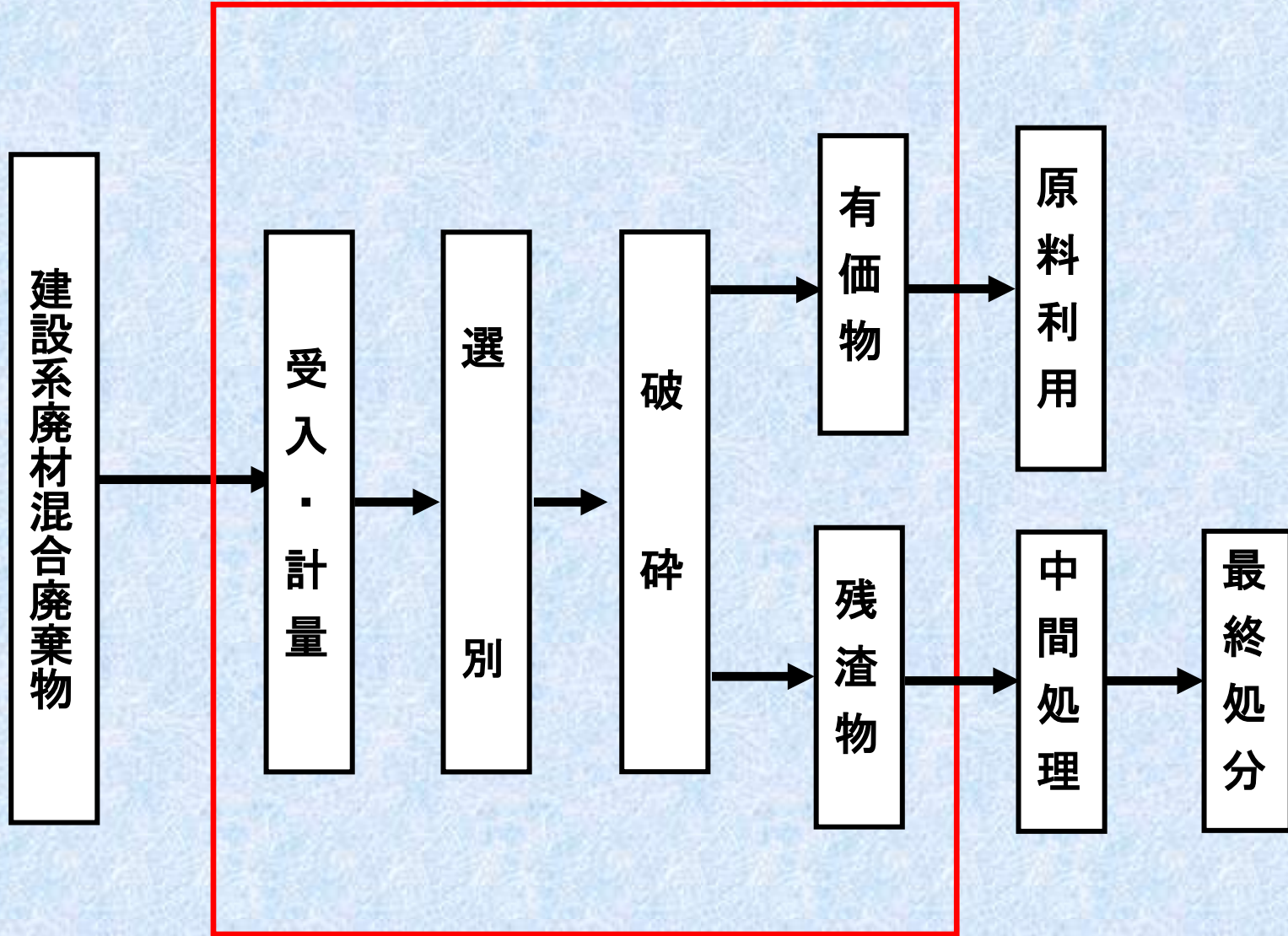
### 凡 例

- 申請地 (Application site)
- 建築物 (Building)
- 緑地 (Green land)
- 屋外保管場 (Outdoor storage yard)
- 搬入ルート (Entry route)
- 搬出ルート (Exit route)

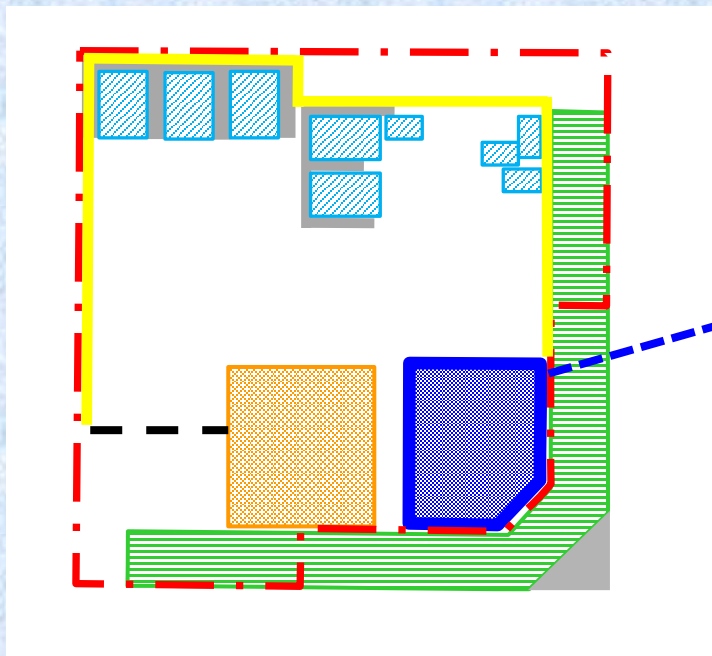


敷地面積 2,104.60m<sup>2</sup>

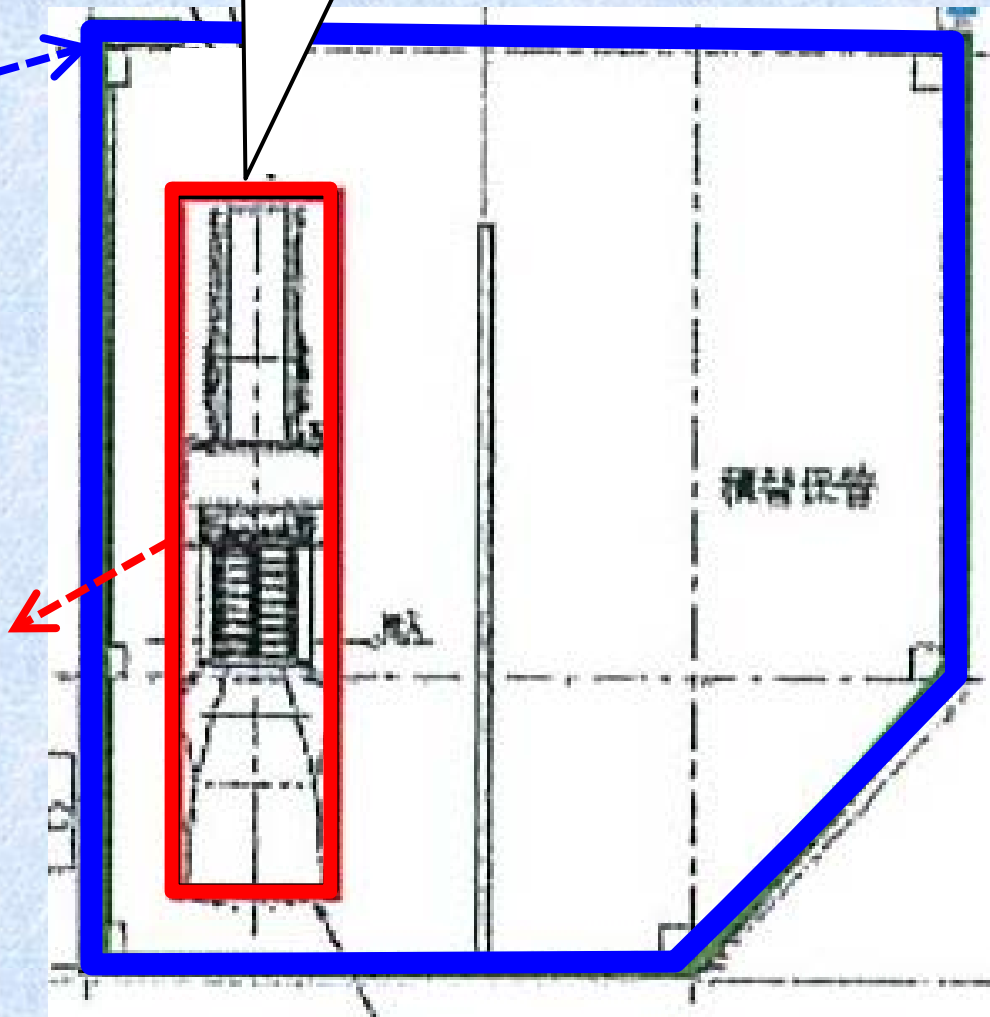
申請地



# 工場内施設平面図



計画破砕施設



破砕施設イメージ

# 生活環境影響調査の実施結果


	市条例※に基づく規制基準	敷地境界における最大予測値
騒音	70 dB (8時~18時)	69dB
	65 dB (6時~8時、18時~23時)	64dB
振動	70 dB (8時~19時)	58dB
	60 dB (19時~翌8時)	56dB


稼働時間： 17時間(6時~23時)

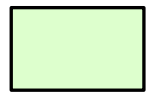
関係法令：騒音規制法  
 振動規制法  
 横浜市生活環境の保全等に関する条例 (※)

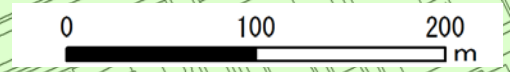
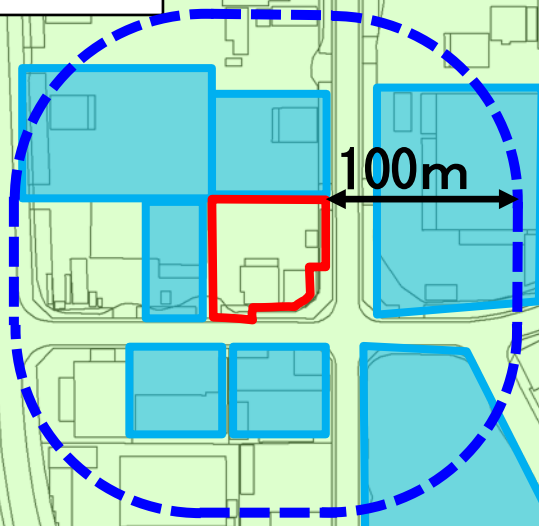
# ■周辺環境への配慮及び周辺説明

- ①施設周辺100mについて  
⇒ 学校、病院等の施設なし
- ②隣接所有者等、工業会への説明  
(平成28年12月～平成31年4月)  
⇒ 反対意見なし

 申請地

 隣接地

 工業会  
(金沢産業連絡協議会)



## ■本案件に対する本市の評価

- ・騒音・振動源となる設備を建築物内に設け、生活環境影響調査を実施し、騒音・振動の最大予測値が基準を満たす結果となっていること
- ・臨海部の工業地域に立地し、工業の利便を害する施設ではなく、周辺に学校等の施設がないこと
- ・幹線道路に至る間の道路は十分な幅員を有しており、かつ、施設への搬出入車両は、周辺交通量に対して影響が少ないこと
- ・隣接地の所有者等に事業内容を説明し理解を得ていること

以上の理由により、

敷地の位置は、都市計画上支障はない